

「やす民報」創刊 第100号

日本共産党野洲市議団ホームページ

創刊以来の「やす民報」は、日本共産党市議団ホームページでご覧になれます。「野洲市議団」と入力し、お入りください。

暮らし優先の市政へがんばります

日本共産党野洲市委員会発行の「やす民報」が創刊第100号(10月8日付)を迎えました。

旧二町では「中主民報」「野洲民報」としてそれぞれ発行していました。2004年10月1日の合併を機に、まちの出来事や切実な願いを市政にお届けする新たな週刊「やす民報」として発行しました。

要求実現の大きな力

合併では「これまでの旧町のよきサービスが維持されるのか。暮らしはどうなるのか。新市のまちづくりは」などが、市民のみなさんの関心事でした。

「やす民報」はこのような市民のみなさんの願いや関心事に、みなさんとの協力共同で運動を広げ、要求を市政や議会に届けてきました。

その結果、乳幼児医療費の拡充や中学校給食の実施に向け、大きな力を発揮しました。

また、市行政や市議会の様子をお知らせし、市政を身近なものとする努力を心がけてきました。

引き続き、暮らしを守る「やす民報」をめざします

安部内閣が発足しましたが、憲法や教育基本法改悪、また、増税や社会保障の切捨てなど大変です。「やす民報」は引き続き、みなさんとともに、暮らしを守る共同の新聞としてがんばります。

全県から1100人が参加

第52回滋賀県母親大会

第52回滋賀県母親大会が1日、野洲市で開催されました。暮らしと平和、子育て・介護など話し合い、明日への希望を培いました。



北野小学校での全体会



第52回滋賀県母親大会は、野洲市内4カ所のコミセン(21分科会)と北野小学校で全体会が行なわれました。

午前中、みかみコミセンで行われた分科会では、子育て真最中のパパ・ママと子どもたち200人が、熊丸みつ子さんと親子リズム。笑顔と歓声の中、子育てを学びました。中央公民館では、二宮厚美さん(神戸大教授)による「経済大国日本なのに」の分科会は部屋に入りきれない人が、「暮らしと経済」についての講演には、真剣にメモを取る参加者や質問も出されるなど、今後の運動への学習の場となりました。

農民一揆の発祥地・野洲市で起こった「天保義民伝」の上映には70人以上が参加。参加者からは、「良い映画だった。10万日の日延べ」ということは、274年間。今も日延べ状態とは、驚き」との感想がだされ、時の権力と闘った民衆の力に感嘆されました。

北野小学校体育館で行われた全体会には約1000人が参加。

風刺漫談家の木藤なおゆきさんが、「地球のすみずみに憲法の花を」の演題で漫談。会場が爆笑の渦になる中、木藤さんは、最後に憲法前文を思い込め暗唱され、憲法と平和の尊さを力説されました。

熊丸みつ子さんの、「子どもたちに笑顔と平和を」の記念講演は、若いお母さん、お父さん達が真剣な眼差しで聞き入り、子育てを感慨されたのではないのでしょうか。

感動と明日からの鋭気を培う野洲市で開催の母親大会でした。来年は日野町で開催されます。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2006年10月8日 100

暮らしのご相談、ご要望
お寄せください

市議員 小菅六雄 (電話)589-4971 (FAX) 589-6184
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~kosuga/

市議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102
(メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~nonami/